



2025年10月5日
10月第一主日礼拝式/聖餐式
＜教団創立記念日 & 献身者デー＞

「誰でもキリストの内に」

(コリントⅡ 5:17)

だれでもキリストの内にあるなら

その人は新しくつくられた者

古(ふる)きは 過ぎさり

すべてが新しい

主のうちにあるなら

すべてが新しい

142 主の愛はとこしえまで

主の愛はとこしえまで

その恵みは尽きず

朝ごとにくる 新しい

あなたのまことは 力強い

新聖歌17番 「主をほめよわが心」

- 1 主をほめよわが心 いまわの時まで
わが生くる日の限り 主をたたえまつれ
この身とたましい 賜(たま)いし御神を
ハレルヤ！ ハレルヤ！
- 2 たじろがぬ心もて ヤコブの頼(たの)みし
いける神 仰(あお)ぐこそ げに幸いなれ
こよなき励まし 受くるぞうれしき
ハレルヤ！ ハレルヤ！

【次】

新聖歌17番 「主をほめよ わが心」

3 天地(あめつち)ともの皆を 造らせたまいし
わが神の御誓(みちか)いは
ことごと果たされん
世界をこぞりて いざ主に仕えよ
ハレルヤ！ ハレルヤ！

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌344番 「なおも御恵み(みめぐみ)を」

- 1 なおも御恵みを なおも御救いを
なおもわがために 見失(みう)せし主を知らん
* なお深く主を なお深く主を
なおもわがために 見失(みう)せし主を知らん
- 2 なおも御心(みこころ)を なおも御教え(みおしえ)を
なおも明白(さや)に知らん 御霊なる神を 【*】
- 3 なおも深く主と なおも交わりて
なおもわれは聞かん 御声のある時 【*】
- 4 なおも御栄え(みさかえ)の 富(とみ)の豊かさを
なおも主の国の 来たるをわれ知らん 【*】 アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン